

ボランティアだより

登録ボランティア紹介

赤津の自然を育てる会



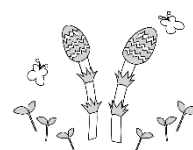
春の女神「ギフチョウ」を何とか絶滅させないために、旧東明小学校裏山（北の森）をフィールドにして「カンアオイ」の移植や森の下刈り、ギフチョウの産卵、幼虫調査などの活動並びに赤津インター南のビオトープの維持管理活動（草刈り、導入水路の整備など）、他に勉強会で地域外での植物観察会など、年間約 10 回の活動をしています。

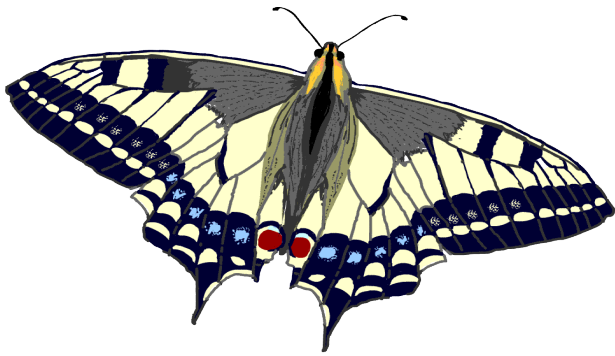
ギフチョウの生息状況は近年、北の森、ビオトープ、猿投山山麓で私たちの調査では、生息の痕跡すら見あたりません。この地方では、絶滅？ 昆虫は突如大発生することもあり、じっと我慢・・・です。気長にギフチョウを待って、活動を続けたいと思っています。

世の中の縮図同様、高齢化とメンバー数も減少し（発足時 39 名→現在 28 名、平均 74 歳）高齢化も進みましたが、知恵と仲間意識で作業に汗を流しています。作業後の昼食会では、ワイワイガヤガヤと和やかに交流を楽しんでいます。

ぜひ、若い方の参加をお待ちしております。

代表 小川 昌彦





優雅なギフチョウ

ギフチョウは年に一度、桜の咲く時期にだけあらわれる「春の女神」とも呼ばれるアゲハチョウ科の蝶で、明治時代に岐阜県で始めて確認された事が「ギフチョウ」の名前の由来となったとされています。

参考文献「昆虫図鑑」HP



希少種のカンアオイ

林床にはえる常緑多年草。葉に白い雲紋や亀甲紋があり、基部は心形となります。暗紫色の花が晩秋に地際に咲きます。花弁はなく、腕型の萼筒があり、萼片上部が3裂して開きます。

参考文献「植物図鑑 エバーグリーン」HP

ボランティアセンターの今後の予定

講座名	対象	日程	時間	場所
地域福祉ボランティア活動助成金事業説明会	ボランティア登録団体	4月13日 (水)	10:00~11:00	やすらぎ会館 5階 大集会室
福祉実践教室 説明及び体験会	市内小中学校 担当教諭	4月20日 (水)	13:30~15:00	やすらぎ会館 2階 視聴覚室

編集委員 飛田・水野・小森・高島です

東欧諸国が政情不安で悲惨な戦禍が拡大しています。現地で逃げ惑う女性や子どもの姿が報道されるたびにとても胸を痛めています。いま私たちにできることで救いの手を差しのべましょう。

編集だより

オミクロン株が、まだまだ続いている状況でまん延防止期間が延長になり、ボランティア活動も思うようにできない中、「ボラだより」第94号を発行しました。記事がなかなか集まらず、このような形にさせていただきました。

次回もがんばって発行したいと思いますので、掲載の記事があれば、よろしく願います。(K・T)

編集：ボラだより編集クラブ
発行：瀬戸市社会福祉協議会
ボランティアセンター
瀬戸市川端町1丁目31番地
TEL 84-2011・FAX 85-2275
Eメール：vc@seto-shakyo.or.jp